

## 老人クラブの広島県地域指導者講習会での挨拶

2015・7・24 老犬講堂

老人クラブの地域指導者講習会が、今年度も盛会裏に開催されますことをお喜び申し上げます。

市老連は、今年、創立52年目を歩まれています。老人大学は、創立42年目です。10歳年上の先輩組織のご指導を仰ぎながら、日々の運営に努めています。

今年度の老人大学は、英会話・カラオケ・茶道抹茶の3教科を新設し、学生数は2585名で昨年度より14名増です。複数教科を受講する学生は309名。延べ学生総数は2894名で190名増です。

しかし、体調不良などを理由に入学を辞退される方が148名で昨年度より46名増となっています。また、60歳前半の入学者数が45名減少するなどして、老犬生の平均年齢は73.6歳、5年前より1.5歳高くなっています。高齢者の生涯学習の場である老人大学も更に高齢化が進み、健康を保つことが難しくなっている老犬生が増えています。

そうした実態を受けて、特定健診や後期高齢者健診などの健康診査を一昨年度から老犬でも実施していただいております。

今後、「休憩時間に皆で行なうラジオ体操を、力を入れて本気でする」。さらに、「自分の身体に合った良いことを何か1つ決めて続けよう」と呼び掛けるつもりです。

老人クラブの健康増進の取り組みを参考にさせていただきたく存じます。今後ともご指導のほど宜しくお願い申し上げますご挨拶とさせていただきます。

本日は、ご盛会、誠にありがとうございます。